

## 特集：OECD 既存化学物質初期評価シリーズ

高生産量化学物質（HPV）に関する経済協力開発機構（OECD）の安全性点検プログラムについては、初期評価会議（SIAM）における審議結果等を本誌の創刊号より紹介してきました。しかし、本学会はこの安全性点検プログラムの重要性を考え、今後、関連の記事を「OECD 既存物質初期評価シリーズ」として継続的に紹介することといたします。

この安全性点検プログラムは、加盟国で年間 1,000 トン以上生産される既存化学物質について、各国の分担により、用途と曝露発生源に関する情報、人および環境への影響に関するスクリーニングレベルのデータ（SIDS）を整備し、行政および産業界の専門家の論議を経て初期評価の合意文書を作成し、国連環境計画（UNEP）を通じて世界に公開するものです。

この点検プログラムには二つの意義があります。一つは直接的な意義で、この点検プログラムにより世界の HPV について国際的に合意した初期評価のデータベースが確立していくことです。このデータベースは今後、各国が特定の化学物質の労働衛生や環境影響などで詳細な評価を行う際の基礎データとして役立つようになるはずで

また、もう一つの意義はこの点検プログラムに参画することの意義です。国際的な初期評価プログラムに参画することは、国および民間の初期評価の能力を向上させる絶好の機会です。この点検プログラムの日本の行政関係者には、多くの企業関係者の参画を奨励し、自ら説明する機会を提供するよう期待しています。

なお、次の三つの記事は既に本誌の第 1 巻に収載したのですが、読者の利便のためにここに再掲します。（文責：星川欣孝）

- ・ 高橋美加、平田睦子、松本真理子、広瀬明彦、鎌田栄一、江馬真 “OECD 化学物質対策の動向(第 6 報) - 第 14 回 OECD 高生産量化学物質初期評価会議 (2002 年パリ)” 化学生物総合管理 1(1):46-55, 2005
- ・ 松本真理子、田中里依、川原和三、菅谷芳雄、江馬真 “OECD 高生産量化学物質点検プログラム: 第 19 回初期評価会議概要” 化学生物総合管理 1(2):280-288, 2005
- ・ 松本真理子、鈴木理子、川原和三、菅谷芳雄、江馬真 “OECD 高生産量化学物質点検プログラム: 第 20 回初期評価会議概要” 化学生物総合管理 1(2):445-453, 2005